

学校名 所沢市立北野中学校
所在地 所沢市北野二丁目4番10
電話 04-2948-6004

1 本校の概要

本校は各学年4学級、計12学級の中規模校で、学校図書館の蔵書冊数は11668冊(平成27年度末現在)であるが、生徒たちの読書意欲は盛んで、学校図書館への来館者数は毎年約8000人、図書の貸出数は7000冊を超える。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- 教科書の「読書案内」で紹介された全ての本を回し読み(「味見読書」)して、自分自身が心から感動できる本(「名作」)を見つけ出すきっかけにする。
- 「味見読書」によって見つけた本の内容などについての情報を交換しながら、本を媒体としたコミュニケーションを図る。

(2) 実践の概要

- ア 教科書掲載の「読書案内」と「1年生にお薦めの本」のページを読み合わせして、題名や表紙から受ける第一印象を持たせる。
- イ 「味見読書」の趣旨を説明し、今回の活動の学習目標を理解させる。(上記「(1) 実践の視点」)
- ウ 「読書案内」「1年生にお薦めの本」で紹介されている本を6箱の段ボール箱に分け各班に配当する。
- エ ローテーションで各班に配当する本を段ボール箱ごと交換し、全ての本を全班に回らせる。
 ※以後、本の交換の度に、1班が2班へ、2班が3班へ……6班は1班へ、それぞれ本を入れた箱を運び、ローテーションVIまで行う。

《第1～第3時》＝1周目

- ア 自分たちの班に配当された本を手分けして「味見読書」し、印象に残った表現やお薦めのポイントなどを「お薦めカード」に記入していく。
- イ 作品ごとの封筒に「お薦めカード」を入れる。
 ※1時間につき2つのローテーションで行う。

《第4～第5時》＝2週目

- ア 作品ごとに「お薦めカード」を読み、興味を惹かれたコメントを「情報用紙」に書き取る。

※1時間につき3つのローテーションで行う。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 自分自身の「名作」との出会い
 ⇒8割以上が「名作」を発見(2～3冊が多い)
- イ 「味見読書」というものについて
 ⇒短い時間でも本の面白さが分かることを認識。
 ⇒友達とコミュニケーションしながら本を読むことの楽しさを発見。

(2) 課題

- ア 生徒たちが「お薦めカード」に記入したものは多岐に渡っていたが、「今後読みたい本」は、圧倒的に9類の本が多かった。生徒たちの多様な読書習慣が身に付くような工夫を図りたい。

「味見読書」しながら「お薦めカード」へ記入



「お薦めカード」記入例

お薦めカード		お薦めカード	
NO.15 『ハッピーバースデー』(一組六班)	印象的な表現など あすは先生からプレゼントをもらったこと、先生からもらったプレゼントを大切にしようと思った。あすは先生からもらったプレゼントを大切にしようと思った。あすは先生からもらったプレゼントを大切にしようと思った。	NO.4 『夏の庭』(一組七班)	印象的な表現など 「ハッピーバースデー」のプレゼントをもらったこと、先生からもらったプレゼントを大切にしようと思った。あすは先生からもらったプレゼントを大切にしようと思った。あすは先生からもらったプレゼントを大切にしようと思った。

「情報用紙」記入例

NO.12	NO.4	NO.3	NO.47
ラスト・エンブレム	DIVE!!	手紙の秘密	いつか逢えたら
「ラスト・エンブレム」の表紙が、とても好きです。読んでいて、とても面白かったです。読んでいて、とても面白かったです。読んでいて、とても面白かったです。	「DIVE!!」の表紙が、とても好きです。読んでいて、とても面白かったです。読んでいて、とても面白かったです。読んでいて、とても面白かったです。	「手紙の秘密」の表紙が、とても好きです。読んでいて、とても面白かったです。読んでいて、とても面白かったです。読んでいて、とても面白かったです。	「いつか逢えたら」の表紙が、とても好きです。読んでいて、とても面白かったです。読んでいて、とても面白かったです。読んでいて、とても面白かったです。